

特集

つながる・地域の元気「県央編」

特集「つながる・地域の元気」、今号は県央編です。NPO法人accommonは盛岡市を拠点に、発達障がい等を抱える親子を支援する活動をしています。地縁組織は滝沢市の「上の山自治会」取材しました。上の山団地は高齢化が進んでおり、住民自らの除雪活動が注目されています。最終面は雫石町のNPO法人まちサポ雫石を紹介します。

発達障がいを抱える子どもの自立をめざして保護者も育つ場所に

NPO法人 accommon

◎受診サポート手帳

医療機関での円滑な受診のため、配慮が必要な方の情報を記載する手帳で、個人の情報や医療機関へのお願い事も記入できる。accommonが実施した保護者へのアンケートや、ワークショップを開催して出た意見から、医師会と相談。県と医師会により発行。今年4月から市町村の障害福祉担当課や医師会から配布される予定。



「あそびの広場」・調理実習

NPO法人accommon(アコモモン)は、盛岡市を拠点に発達障がいなどを抱える子どもと、その保護者の支援を行っている。「配慮適応」という意味のアコモデーションをコモン(共通)にとの思いを込めた命名という。

子どもの自立につながる活動を

現在は、集団での学習が苦手な子どもに向けて、月に1、2回「まなびのHIROBA」を開催している。年代を問わず親子20人程が集まり、それぞれの学習に集中する。また、調理実習やエクササイズなどに親子で参加する「あそびのHIROBA」も行う。保護者が子どもとの関わり方を学ぶ場にもなっている。他にも、保護者向けの座談会や勉強会の開催にも毎月取り組んでいる。活動内容は、全て会員の保護者の発案によるもの。理事長

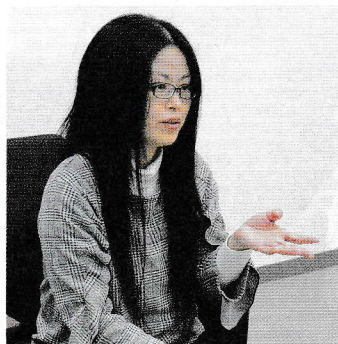
子どもも保護者も共に

の成田礎野美さんは「様々な体験をして自立した大人になってほしい」と話す。今後はより子どもたちの自立につながることで、仕事の体験や職場見学も考えている。

法人としての設立は2017

年。それ以前から、京都にあるNPO法人の盛岡支部として活動を始めていた。通級(通常の学級に在籍しつつ、特別支援教育を受けられる制度)の親の会の延長として、夫の転勤前に京都に住んでいた成田さんが設立に携わった。盛岡での活動に幅が広がり、徐々に会員も増えた。よりオープンな団体として広く利用してもらうために、accommonを立ち上げた。

現在のスタッフは5人。同じ立



成田 礎野美理事長

困っていること・お願い

あつい

さむい

うるさい

やめた

休みたい

トイレに行きたい

書いてください

みんなの受診サポート手帳

【事務所】TEL&FAX:019-656-7067
URL: <http://accommon.jp/>

場の母親たちで、無報酬のボランティアで運営する。運営は会費と寄付金で行うが、活動には助成金を活用することが多い。助成金で賄えない部分の、やりくりには苦労しているとのこと。「学習や学びの場づくりなど会員から寄せられる様々な要望に耳を傾けて、共にできる事をしていきたい」と成田さん。様々な企業や施設の応援団も徐々に増え、発達障がいへの理解が進みつつあると実感している。accommonは、困りごとを抱える子どもとその保護者が成長する場として、大きな役割を果たしている。